

六大学野球春季リーグ明治立教戦応援観戦報告(明治優勝)

東京都多摩支部 企画事業委員会 土井隆夫

六大学野球春季リーグ戦は明治と立教が勝ち点4で並び、明治が1勝1分とし、今日23日に明治優勝を信じて神宮球場へ応援に行ってきました。

今回は、学生応援団も内野席に、外野席も販売されていました。

試合前半、明治は1人も塁に出ず立教が押し気味なるも、明大蒔田投手が粘ってゼロに抑え、投手戦で延長となりました。

11回裏明治が1アウト満塁となり6番蓑尾選手がライト犠牲フライを打ち、1対0でサヨナラ勝利し、全チームから勝ち点を挙げ春季リーグ戦の優勝を決めました。バンザーイです。

6季シーズンぶり、41回目のリーグ優勝、4年生が1年生の時に優勝経験(森下投手など活躍)し、今期は「頂戦」をスローガンに掲げて挑んだ春季リーグ、見事に頂上にたどりつきました、本当におめでとう！

6月6日からの全日本大学野球選手権大会でも、「頂戦」を目指して頑張ってもらいたい。そして、駿河台界限での優勝パレードを再現できることを願うばかりです。

多摩支部企画事業委員会では、久しぶりの多摩支部行事再開のスタートで4/24 明治早稲田戦の応援に行きました。試合では敗戦となりましたが、気持ちが後押しとなり、選手たちが東大戦以外は3戦、4戦と粘り勝ちしてきました。

多摩支部では、秋季リーグでも応援観戦を予定していますので、多くの校友皆様のご参加を期待しております。



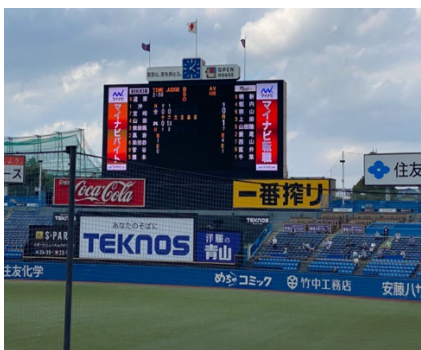
試合前のエール交換



試合開始(明治後攻1塁側)



延長11回裏外野フライで三塁からタッグアップして1点、優勝決定瞬間



延長11回スコアボード



1塁側応援席に挨拶



田中監督の胴上げ